MW COMICS
成年コミック
奴隷女教師・景子 14
原作／杉村春也
漫画／まいなぁぼおい

奴隷女教師・景子⑭

奴隷女教師・景子14

奴隷女教師・景子14

目次

第二十章　めんどり教室…7

今までの話

私立の名門英正学園に就職した英語教師、松下景子はかつて家庭教師をしていた春川かおると再会する。しかしかおるには暗い翳りが…

かおるの母親、春川佳代にその原因究明を頼まれた景子は３年Ｅ組に巣食う不良グループ黒志会に接近した。

しかし景子は彼等の罠にはまり、むりやりかおると肉の関係を持たされたあげく黒田ら四人に輪姦されてしまう。

弱味を握られた景子は次々と出される無理難題に従わされ、徐々に露出狂のマゾ奴隷へと調教されていく…

そしてついに黒志会の魔手は春川かおるの母へと向かうのだった…

悪徳教師の横田に排泄の自由を奪われた母佳代は徐々に洗脳され露出マゾ奴隷として人格を改造されていく…

そして校長がついに景子に魔手を伸ばしたと同時に佳代は元ヌードモデル小桜ルミ子として学校職員として採用され供に奴隷として調教されるのだった…

へへへへ…
どうだ景子先生…
感じてますか？
うっ…
あああ…
いいわ…
そらそら
乳首が起って
こんなに硬く
なってるぞ
ふえええ
このムチムチした
太腿たまらない
ですよ…
くそお… ここに
早くチンポいれたいぜ
淫乱女教師が…

オラオラオラ！
どうだルミ子！
ここがいいのか！
いくらでもいけ！
おっ！
おおうッ
おおう！
いくうッ
いっくううう
おっ…
ひッ!!

うぐッ
うぐッ
ケポル
おぼぼ…
よ…よし…
かおる…出すぞ
出すから全部
飲むんだぞ…
ケポ
うくく…
ぶぶ
ぷはッ…
次は俺だ
かおる！

うーむ…
たまには
かおるも
いいな…
俺は
やはり
松下先生を
やるぜ…
そらっ！
ひざまづいて
しゃぶるんだ
俺から
やってもらうぜ
Bクラスからな
あ…
はむむ…
うぶぶ…
誰にやって
もらうか
迷うぜ…

俺はルミ子にするかな…
ふあっ
松下先生にはやってもらった事あるからな…
俺も景子の後はルミ子にやってもらうかな…
神田は校内での性交は認めないがフェラチオは一応許すという事でまず課外授業は三人のペットでのフェラチオ奉仕から始められた…生徒達はそれぞれ好みのペットの列に並ぶと景子 かおる 佳代に性器をしゃぶらせるのだった…
うむ…
ぶぁあ…

うぶッ
おぼッ
かおるは
うまいぜ…
たまんねえ
ええ…
うぐぐ
ルミ子！
しっかり
しゃぶれよ
うぐっ

ほほほ！
みんな必死ねぇ
時間はあるから
慌てなくて
いいのよ！
ルミ子
もっと
頑張れ！
あらあら
松下先生より
ルミ子が
人気なのね…
こりゃ
時間が
かかるな
おーい
早く出せよ
くそッ
もうかおる
いいか…
もう
待ってられ
ねえよ

んッ
んん…
ん…
ん…
はむ
はむ…
はむ
どうだ かおる
うまいか？
ほらッ
出すぞ！
ふむむ…
ぷはああ

そら
次は俺だぜ
はむ
むむ…
フェラチオにおいては
かおるが一日の長が
あるようだった…
ふぐぐ…
そして次はやはり景子だった…
この二ヶ月足らずの間に散々
仕込まれているからだ…
初めは黒田達黒志会の連中…
そして横田や井川佐倉…
最近は一般生徒のペニスを
何本しゃぶらされたことか…

じゅるる…
かおるもいいがやはり松下先生にやってもらうか
おい！さっさと終われよ！
かおるの口中に出してそのまま景子の列に並ぶ者も多かった
おい早くしてくれよ…
やはり初物食いが人気がありルミ子の列に並ぶ者が一番多かったがフェラチオに不馴れな佳代は生徒を射精まで導くのに時間がかかった
ふあッ
ふむむ…
もっと舌を使って…強く吸うんだよ
ふぐぐ…

ぷはッ
ゴホッ
何やってんだ
ちゃんと全部
飲み込むん
だよ！
す…
すみません…
若い男の濃厚な…
粘つく白濁液を飲み込む
事は難しかった…
うッ
ゴホッ！
情けないぞ ルミ子…
松下先生やかおる坊っちゃまを
見習うんだな…
もう五人分は飲み下してるぜ
ぐぶあッ
は…
はい

その景子もつい最近までは
大量の精液を飲み込む事に
四苦八苦じでいたのだ
不良生徒達の過酷な調教が
それを可能にしたといっても
過言ではなかった
オラアッ
全部飲むんだよ！
ふぐッ
ふむむ…
ぐええ…
まだまだ
許さねえぞ
げはああああッ…
何
吐き出してるんだ！
ふざけんな
先公！
黒田達の女教師に対する
調教は厳しく…まさに
スパルタ教育そのものだった
失敗すれば鞭で打たれ何度も
繰り返され景子は悶絶した
ぎひいッ
ゆっ
許してぇ！

オラアアッ
もう一回
やり直しだ
ハ…
ハイッ
いくらでも
出してやるからな
ちゃんと飲むんだ
の…飲みます
飲みますから
飲み慣れない精液を
こぼさずに嚥下する
事は拷問のようだった
うぶッ
うぷッ
舌の動きが
おろそかだぞ
不良生徒達は毎日
女教師に大量の精液を
飲ませる事を日課の
ように繰り返したのだ
まさに景子にとって
精液地獄だった…

黒田達のアジトで…
教室で…そして
景子の自宅で…
景子は青臭い精液をただ
ひたすら飲まされ続け
たのだった…
生臭い精液で腹を
一杯にされる事に
慣れるなど 不可能に
思えたが…なんとか
飲み下すことは
できるようになった…
げほ
オオ…

かおるは去年から横田や黒田に調教されていたのでフェラチオも巧みであった…
うぼあ
はむッ
はむむ
はぶぶ
中には景子かおるルミ子と三人に射精する豪の者も…
ケオッ
ケオッ
国語テストで優秀な成績を修めたみなさま…
本日はおいしいザーメンをご馳走してくださりありがとうございました

ゲホッ
ゲホッ
ゲホッ…
なんだい!!
ルミ子 その様は!!
せっかくみんなが
出してくれた精液を
もったいないじゃない
おえぇ…
す…
すみま…
……
フェラチオが下手で
精液も飲めないなんて
ペットとして失格よ!!
ひひひ…
こんなものを
用意してきました
?
卵じゃない
これをこいつらの
ケツの穴に
入れるんです
先生!! これは
お仕置きが必要
ですよ… 僕にいい
考えがあります

第二十章
めんどり教室

ああ… 神田様… どうか変な事はしないで下さい…
お黙り!! 何よ…このでかい尻は!!
ピシャッ
ピシャッ
叩き甲斐がありそうじゃない
畜生 かおるはこんな女とやってたのかよ
……
へへへ… このちんまりしたケツの穴にこいつを入れるんだ

ルミ子
ケツの穴の力を
抜くんだ…
そうしないと
痛いぜ…
息を吐いて
緩めるんだ
ああ…
だから
力を抜けよ
卵が入らねぇだろ！
肛門の筋肉を
緩めるんだよ!!
そのままじゃ
入らんだろう
こいつを使うといい
さすが黒田さん
助かります
あうっ…

おおおおう…
すげえ…黒田さんのローション塗ったらぽっかり開いて来たぜ
これなら卵入りそうだな…
ぐげええ!!

グヴヴ…
お…
半分入った
ぞ…
くふ
うう…
ほら！
ケツの穴の力を
抜くんだよ！
ルミ子
はふうう…
もう…
許して…
おッ
入ったぞ
ズプッ
ひゃほ
ほうう…

おし！
入った！
プチュ
くひいい
いいッ
まず一個…
どんどん
いくからな
ルミ子さん…
くはああ…
もう許して…
許して下さい…

痛いわ！
痛いんです…
もう許して…
お願い…
騒ぐなよ
これくらい耐えられ
なくてペットが
勤まるか！
そら
二個目だ
ああ…
やめて…
おおう！
おおお…

騒ぐなよ
口を塞いで
やるぜ
!!
はむむ…
むむぅ…
ふふふ…
大人しくなった
ぜ…
ぐはッ
力抜けって
言ってんだろ!!
ふぎゅう
むぎゅぎゅ
うううう〜〜

駄目だ
黒田さん
三個もはいら
ねぇ…
しょうがねぇな
先輩にお手本を
見せてもらおう
かおる 景子…
二人並んで
そこに手をつけて
尻を出すんだ
!!
……

ムッチリした景子の尻と…くりっと引き締まった
かおるの尻が…
違いがわかってこうやって並べるとエロくていいな…
ケツの穴にたっぷりローション塗ってやるぜ
ひひひ…気持ちイイか
あ…
うう…
そらそらかおる気持ちいいのか？どうだ？
ふあぁ…

へへへ
どうだ？
感じてるのか
かおる？
ふああ！
あやしげなローションを
塗られるとかおるの
ペニスとアヌスは充血して
痺れるような感覚が腰を
中心に広がっていくの
だった…
ああ…
おおう…
おいッ？
チンポぎんぎんに
してどうした？
そんなにいいのか
かおる？

ふあああああ…
どうだぁかおる…気持ちイイか
あっ
ああ…
ニュル…
ニュル…
ひあああああ…あっ…そこッ駄目えええ…
へへへ…松下先生もいい具合にほぐれていますよ…

くはああ
おひいッ
おおおうッ
おひひいいいいいいいッ
チュクッ
チュクッ
チュクッ
チュプッ
チュプッ
チュプッ
チュプッ

ローション塗ったらすげえ柔らかくなったぜ…
見ろよケツの穴がポッカリだ
ヒク…ヒク…
これなら簡単にゆで卵が入りそうだぞ
かおるの奴チンコがビンビンじゃねーか

まず一個はいったぜ
ああ…駄目ええ…
ひいい…入るうぅ
すんなり飲み込みやがった淫乱女教師が

はあああっ
そんな…
いやあああ～～～
すごい
三個入ったぜ

さすが
スチューデンツ
ペットの先輩
だけあるぜ
かおるも三個
入ったぜ！

こら！
ルミ子！
三個目が
入らねぇぞ
パンッ
ふぶぶ…
それでも
二個飲み
込んだのか…
凄いじゃねぇか
ぶふぇ
……
こら！
また吐き出し
やがって…
もういい
そのかわり
みなさんに
お詫びするんだ
は…
はい…

こう言ってお詫びするといいぜ…
……
は…はい…
み…みなさま…卵を…二個しか入れられなくて申し訳ありません…
ペットの先輩の…松下先生や…かおる…坊ちゃまを見習いまして…これからは心を入れ替えて特訓に励む事をお誓いします…
ひひひ いいぞ！ ルミ子！ 頑張れよ！
ケツもおっぱいも松下先生より好きだぜ！ 応援するからな！

これからは…
課外授業にも積極的に
参加させていただきますので
よろしくお願いします
どうか存分に
ルミ子をいたぶって
下さいませ…
たまんねえ！
こりゃテスト
頑張らねぇと
本当かよ
こりゃ二学期が
楽しみだ

それじゃ皆様に
お前が毎日やってる
事を披露するんだ
クリトリスの仕掛けや
脇毛とオマンコを
よーくお見せしろよ
えっ！
は…はい…

み…
みなさま…
ご覧下さい
元ヌードモデル
小桜ルミ子の…
これがおっぱいですわ
少々垂れ気味では
ありますが…
ボリュームには
自信がありますので
お好きなように
もみもみして
下さいませ…
プルン
プルン
プルン
いいぞ！
ルミ子ちゃん！
すげえデカパイ
だな…
松下先生も
でかいけど…

そして…この…
脇毛でございますが
これは私のいやらしい
体臭を皆様により
味わっていただき
たいと思いまして
こうして処理
しないようにして
おります…
ご了承下さい
ひゃぁ…
これは変態
だな…
確かに
フェロモン
ばりばりだぜ
ひひひ…
この売女すげえな
そして…この…
クリトリスでございますが…
毎日釣り糸でくくって
刺激しておりますのは…
常時興奮
するため
でございます…

この… ギンギンに勃起したルミ子のクリトリス…ルミ子の乳首…ルミ子のアヌス湿った腋の下… みんな皆様のものですわ…
どうかこんな淫乱女を厳しく躾けて… 松下先生やかおる坊っちゃま以上の皆様のペットに調教して下さいませ…遠慮はいりません… 泣叫んだりしても絶対に手を緩めないで下さいね
おいおいまじかよ…
すげえ変態女だなわかったぜ徹底的に仕込んでやるから覚悟しとけよ…
こんなエロい女初めてだぜ

た…
たまんねぇ
テスト
頑張って
よかったぜ
この学園に就職したのも
松下先生がスチューデンツ
ペットになって皆様に
厳しく躾けられている話を
聞いたからですわ
かおる坊っちゃまを
誘惑したこの悪女を…
松下先生以上に厳しく
皆様のペットに相応しく
お仕置きして下さいませ
どんな目に会わされようと
文句は言いません
豊満な美女が常識はずれの
アピールを続けるのを前にして
生徒達は唖然としながら股間を
大きく硬くしていた…

ああ… ご覧になって…
か…ルミ子の…この…
ビンビンに勃起した
クリトリスを… テグスに
絞られて可哀想なくらい
もう皆様に
虐められたくて
我慢できなくて
真っ赤にてらてら
光ってるの…
黒田に教えられた口上
以上に淫らな台詞を
口走りながら…
自分自身の言葉に興奮を
かきたてられた佳代は
ますます破廉恥な行為を
エスカレートさせていった
すぐ横に息子のかおるや
松下景子がいることなど
おかまいなく…
むしろ息子にこんな淫らな
行為を見せつける事に
異常な程のときめきと喜びを
感じていたのかもしれない
ルミ子になりきった佳代は
頬を紅潮させながら生徒の前に
股間を晒していた

新しいペットのオマンコをようくご覧になって下さいこのピンピンに勃起した…
ああ…息子の前でこんな事言うなんて
すげえ！真っ赤に充血してこんなにでかくなって
だめ！意識すればする程乳首もクリも痛いくらい硬くなってるう…
生徒達が文字どおりかぶりつきの距離で佳代の恥ずかしい部分を凝視すると…彼等の視線はまさに物理的な圧力をもって局部を刺激するのだった…佳代の身内には紅蓮の羞恥の炎が燃え上がり失神寸前に追い込まれた
テグスが食い込んでちぎれそうだぜ

よし
そろそろ卵を産んで
もらおうか…
その机の上に乗りな
は…
はい…
さすが元ヌード
モデルだけあるな…
堂々としたもんだぜ
素っ裸で恥ずかしく
ないのかな…
しかし…
この淫乱な美女がまさか
同級生の母親とは夢にも
思わないE組の生徒達で
あった…

み…みなさま…
卵は二個しか
飲み込めません
でしたが…
めんどりに
なりきって産んで
ごらんにいれます
ルミ子が卵を
産む所をよーく
ご覧になって
下さいませ…
ヒヒヒ…
美女の産卵ショーか
たまらねえぜ

んッ
くううッ
むむッ
おおうッ
出たぞ!!
卵が
でたああッ
くはああッ
見事に
産みやがった

こらッ!!
黙って産むやつがあるか!!
メンドリらしくコケコッコーと鳴くんだ!!
は…はい…
ん…んん…
出てきたぞ…

おおっ
りっぱに産み
落しやがった！

ふふふ…
そっちの
雌鶏も卵産ませ
たらどうだ
かおるも
ちゃんと
鳴くんだぜ
はむむ…
よし景子！
お前も景気よく
鳴いて卵を産めよ
はむむ…

そら！
景子もっと
気張れ！
ハアアア
ふむむ…
ムリムリムリ…
ほお
おおうッ

へへへ
松下先生のケツの穴に入ってた卵だ後でいただくぜ
喰うのかよ変態だな
カラン カラン
そら かおる お前も卵産んでみろよ
ホホホ お前もメンドリになるのよ
ぐぶ
ううむ…
ほらッ！ もっと気張りなさい

オラオラオラ
もっとしっかり
しゃぶれ！
ホホホ
かおる！
どうしたの？
ん…
んん
ムリムリムリ…
コッ…
コケッコウ

チュポンッ
くはッ

ちょっと可哀想になってきたわ…かおるも松下先生も惨めすぎるわね
ほら もう一回だ
神田先生が同情することはないですよ…こいつらは惨めな目に会わされて感じてるマゾなんです
ああ… たまんねぇ…
ピチャ
ピチャ
ピチャ

むしろ人前でこんな目に会わされて感じまくってるんですから呆れた変態ですよかおるも松下先生も喜んでるんですからもっと責めてやって下さい
どうりでかおるのチンポがビンビンになってる訳ね…それなら遠慮はいらないわもっと厳しくやってやるわ

神田に揶揄されて屈辱の涙をこぼす景子だったが不覚にも黒田の言う通り惨めさを自覚すればするほど異常で倒錯的な快感を感じていたのも事実であった…

そらかおる！もう一回卵を産んでみろ！

生徒達は何度もゆで卵をかおると景子の肛門に押し込み産卵を強制した

ひいいッ

おおうッ

ポンッ

ジュポン!!

チュポンッ

チュポポニン

見事なもんだな
あれくらい出来て
ペットと言えるんだぞ ルミ子
ハ…
ハイ…
とりあえず
ケツ叩きの刑で
勘弁してやるぜ
ひゃあああ
ケツ叩きだ！
ケツ叩きの刑だ
そらあ！
ケツを
突き出せ！
ああッ
お許しを!!
何がお許しだ！
泣いても許すなと
言ったばかりだろ

いいケツだな…
餅みたいにむっちり
しっとりしてて…
手に吸い付くようだ
ペチ
ペチ
松下先生のケツも
でかいけど引き
締まってて反発力
あるんだよな…
ルミ子のケツは
柔らかくて指が
沈み込んでいく
まるで綿布団
みたいだ…
いいこと考えたぜ
この金属製の
物指しを…
こうして
俺がここで
固定しておく
から…
お…
わかったぜ
ケツをそれで
叩くのか

いくぜ
ヒヒヒ…
ぎひィッ
ハアアアアアアン

お！
面白い事
始めたな…
いい音
するぜ…
ぎゃあ
あああッ!!

パアアアアアアアン
いい音してるぜ！
きひいいいッ!!
ゆっ許してええええッ！

も…もう十分じゃないかしら…ルミ子さんも課外授業は初めてなんだし…
何言ってやがる！
まだまだこれからだぜ！
ほう…松下先生もマゾの血が疼いてきたらしいぜ羨ましいんだろ

!!
そんな…

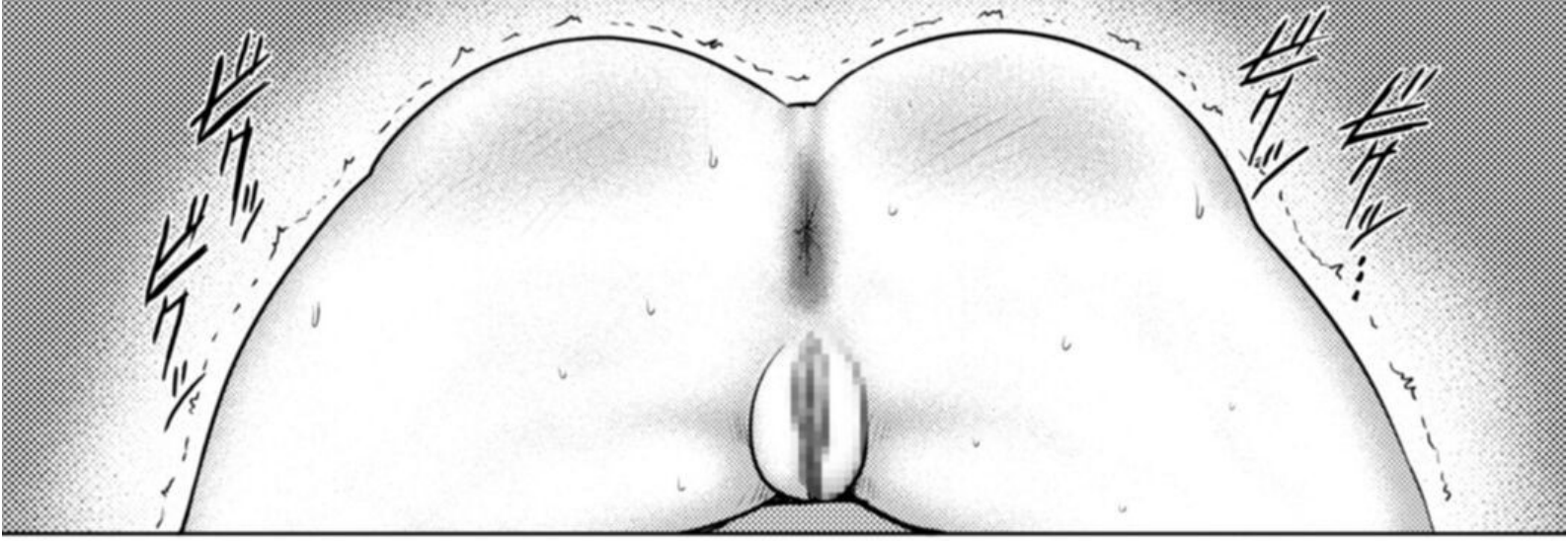
そら！さっさとケツを突き出しな！
ああっ！そんな…
ヒヒヒ松下先生のケツもいい音だしそうだぜ

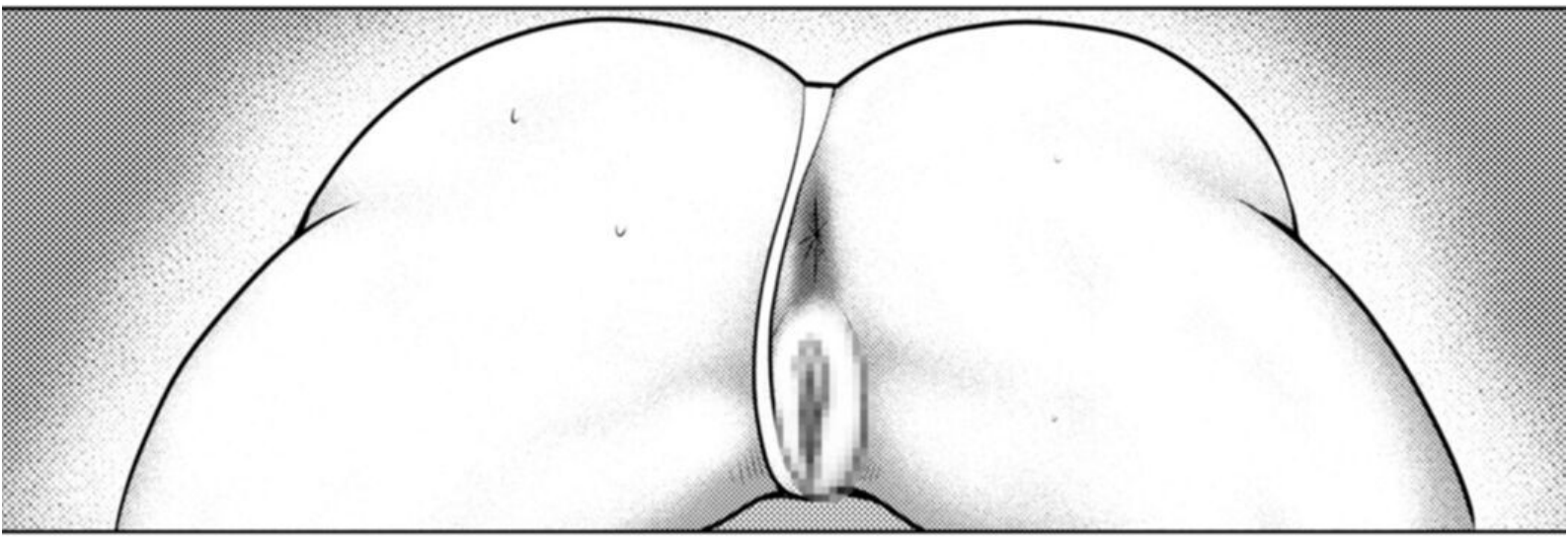
なんだそういうことか
松下先生も尻打ちの刑を受けたいらしいぜ！早速やってやろうぜ！

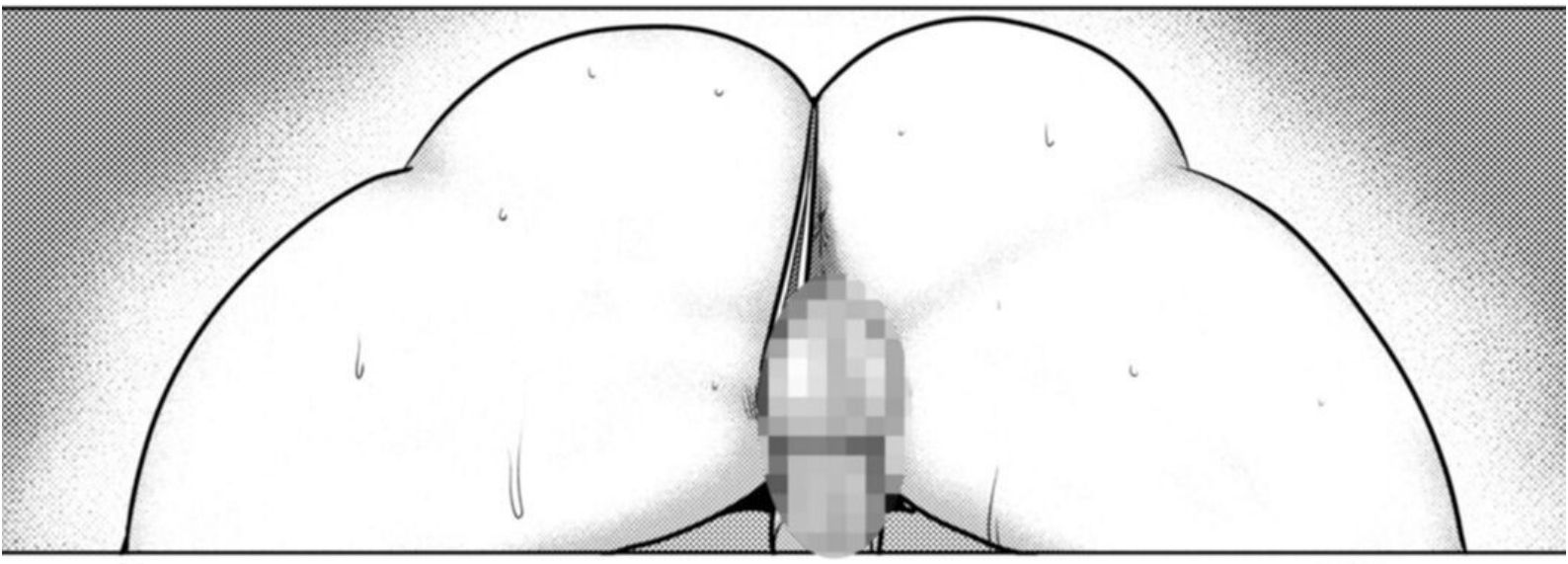
そんなにケツを
しばいて欲しいのかよ
遠慮しなくていいんだぜ
たっぷりケツを叩いて
泣かせてやるぜ！
ああ…
ゆっ…
許して…
や…
やめて…
ほう かおる
お前もやって
欲しいのか

ああ…
お前も
ケツだせよ
ヒヒヒ
松下先生もいい
尻してるぜ…
金属物差し
あと二本
持って来いよ
ああ…
お手柔らかに
ね…

そらッ！
お前もケツを
高く突き出せ！
あうッ
ピシャッ
へへへ…
たまんねぇな
三人ともいいケツ
してるぜ…
物差し係は
誰がやるんだ？
さっさと
決めろよ
ホホホ
三人ともいい格好よ
尻を突き出して
みっともない
尻の大きさが
違うな…
たまらねぇ
どれでも
いいからぶっ
叩きたいぜ
早く
やらせろ！
こりゃ
壮観な
眺めだぜ
くそう…
チンコがまた
起って来た


ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ





ルミ子のケツ…
でかくて白くて
柔らかそうで
たまらんな…
松下先生の
ケツもでかいが…
ムッチリしてて
弾力がありそうで
いいぜ
かおるのケツは
引き締まってて
可愛いぜ…

ルミ子のケツ叩きがいいがあるぜ…この湿った音がなんとも言えねぇ…
確かにエロい音してるじゃねえか…
松下先生もいい音してるぜ ルミ子より高い音で跳ね返すような弾力がいいぜ
いい音じゃねえかよく響いて股間にビンビンくるぜ俺にも叩かせろよ

あっ…
ヒヒヒ…
かおるの尻も
いい音させてるぜ
高い澄んだ音だな
興に乗った
生徒達は三人の
尻を調子に
合わせて叩き
始めるのだった
そらそら
景子の尻も
いい音を出すぜ
ルミ子の
ケツも
負けないぜ
あっ
ああ…
くっ
くううッ
あうッ
あんん

ルミ子の音は
ほんとにエロいな
汗に濡れたケツが
またたまらんぜ
せっかくの
いい音に悲鳴が
混じってるぜ
あふッ
くうッ

そら…
口を塞いでやるぜ
おぼ…
ふぐあ…
景子の口も
塞いでやるよ
これでケツの音が
よく聞こえるだろ
おぼあ…
ふぐぐ…

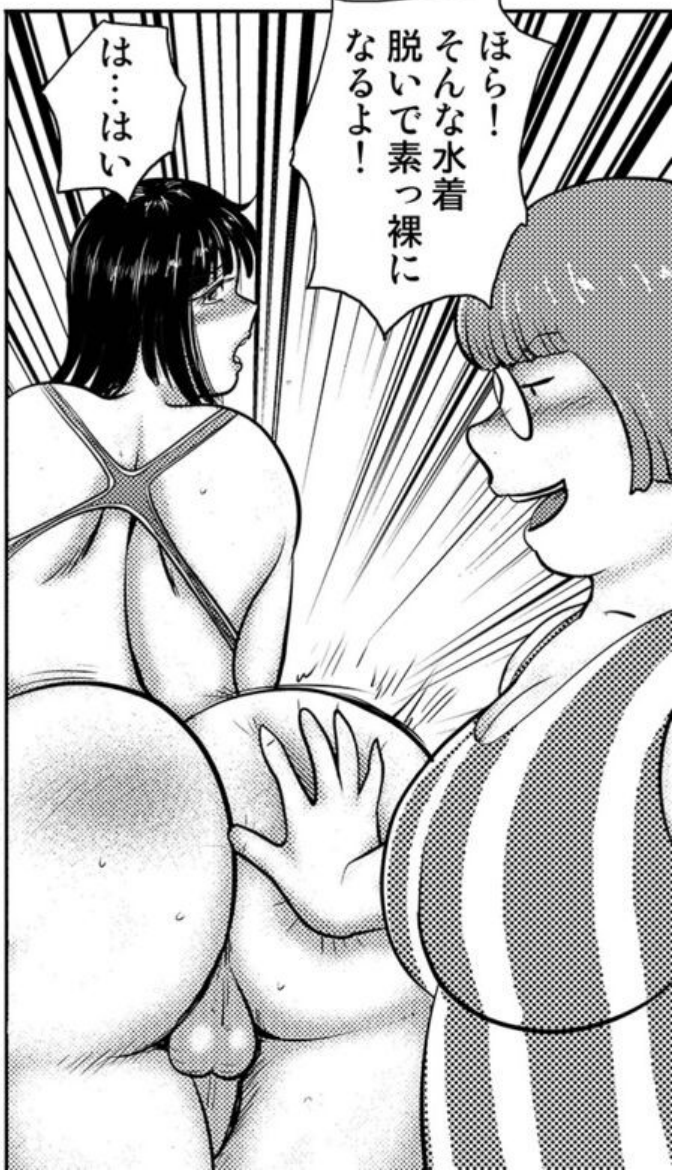
そらッ!!
かおる!!
しっかりしゃぶれ
どうだ?
ケツ叩かれながら
チンポしゃぶるのは
ふがあ
ぶぱッ
おご
おごご…

パァン
パァン
パァン
ふぐッ
ぐぎゃッ
ふぐ
ふぐぐッ

淫らな音楽会はもはや凄惨な処刑場の雰囲気を漂わせ景子達のくぐもった悲鳴と淫微な打擲音が高らかに教室に響き渡った…
もがぁ…ふぐッ
くうッふむううッ
ペットの尻は赤く染まり同じ部分を打たれる度にペニスに塞がれた唇からくぐもったうめきが漏れる…

尻楽器による
淫らな音楽会は
一時間にも渡って
続けられた…
その間生徒達は
何度も景子とかおると
佳代の口に精液を注いだ
そうして神田の課外授業は
終了したのだった…
ピ…ピクル…
あらあら
もうこんな
時刻じゃ
ないの…

ホホホ
三人とも
たくさんお尻
叩いてもらって
よかったわね
生徒にお礼を
言いなさいよ
……
ああ…
ううう…


ほら！
そんな水着
脱いで素っ裸に
なるよ！
は…はい

……
ひひひ
またチンコ
でかくして…
みなさま…
今日はたくさん
可愛がって
いただきありがとう
ございました
そんなに
気持ちよかった
のかよ？

やはり本物のマゾなんだな 尻を叩かれて喜ぶとは…
変態野郎が…
今日も変態女教師の景子を虐めて下さってありがとうございます
は…はい
そら 景子 あんたもお礼を言いなさいよ！
先生！ かおるがあんなにチンコをギンギンにしてますよ なんとかしないと
ふふ みんな友達想いねえ
……
かおる！ ちゃんと立ってチンポを見せるのよ
もっと背筋を伸ばせよ
あいかわらず立派なチンポだな…

こりゃ辛抱たまらんな！
そんなに興奮して恥ずかしくないの？
こりゃ可哀想ですよ…誰かとやらせてやらないと
松下先生とやらせたら
駄目よッ！学校でセックスは絶対に駄目よ…
なるほど…それなら性交とは言えないわね…
それならアナルでやればいいですよそれならセックスとは言えませんからね
かおる…どう？やりたいならお尻の穴に出すのよ
!!
ひさしぶりにルミ子とやらせたらどうです！

え……
そんな…

そ…それ
だけは…

息子のクラスメイトの
眼前でその息子と
アナルセックス
することなど…
あまりに恥ずかしい
行為であるのだが…

そうね…
松下先生は一応
教師だし…
ルミ子の方が
いいかしら

……

……

…？
どうしたの？
やっていいと
私が言って
るんだよ

二人の関係を知らない
神田は気を利かせた
つもりで提案したにも
関わらず…
かおるとルミ子の
間になんともいえない
気まずい雰囲気が
流れた事に違和感を
覚えた…

ふふふ…
面白くなってきたな…
あんた達さんざんやってたんでしょ？
さっさとやりなさいよどうしたの？

神田はまだかおるとルミ子の関係を知らないからな…
ふふふ…
ゲタはまだ知らせない方がいいと言っていたがさて…
いつ気づかせるつもりなのか…

あ…あの…
ルミ子さんは慣れないお尻が痛いのでは…
何よ！
ケツの穴が痛いっての…
しょうがないわねそんなんでペットが勤まると思って！
フフフ…
見かねて景子が助け舟を出したか余計な事を…
それなら松下先生とやらせますか

先生…
ありがとう
ございます…
かおる君…
景子のお尻で
我慢してね…

ああ…
助かったわ…
生徒たちが見物する前で
実の息子にアヌスを
犯される等…
神田やクラスメイトが
知らないとは言え
佳代には許容できる事では
なかった…
景子が身代わりになって
くれたことを心から
感謝する佳代だった…

時間がないんだからさっさとしなさいよ
くそうッなんでかおるだけが…
松下先生とやれるなんてうらやまし過ぎるな…
うふふふ…かおる君… 景子のアヌス どうかしら？ルミ子さんの穴と較べて…
どちらがよかったかあとで聞くからようく味わって頂戴ね…
プルンプルン
クイッ
プリッ

変ねぇ…
松下先生がルミ子の
代わりに進んでなる
なんて…
松下先生！
こっちに尻
向けて下さいよ
よく見えません
松下先生…
ごめんなさい…
こんな事になって…
いいのよ…
かおる君
思いっきり
景子のアヌスを
犯して頂戴…
遠慮しないで
いいから
おいおい生で
ケツの穴やるのか…
まあ卵何個も入れた
から大丈夫かな…

ググ…
チプッ
くうッ
ズププ…
パンッ
パンッ
緊密な景子のアヌスに締め付けられると
かおるも素晴らしい快感を感じて目を細めるのだった…
おひいッ
卵を出したばかりの景子のアヌスはやすやすとかおるのペニスを受け入れたように見えたが…雄渾なかおるのペニスが根元まで差し込まれると景子は息が止まるような衝撃を受けてのけ反った
おおッ

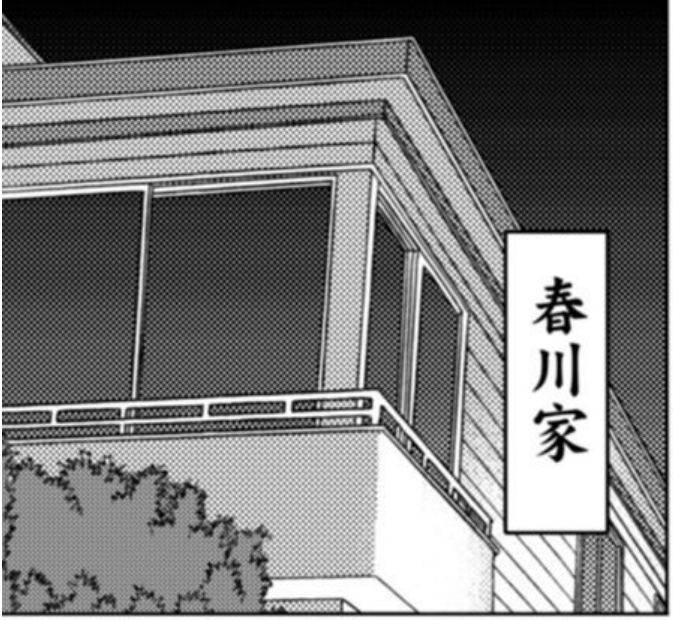
かおる！
何よその
腰つきは！
あっ
ああッ
すげえ…
ほんとに
ケツの穴に
入ってる

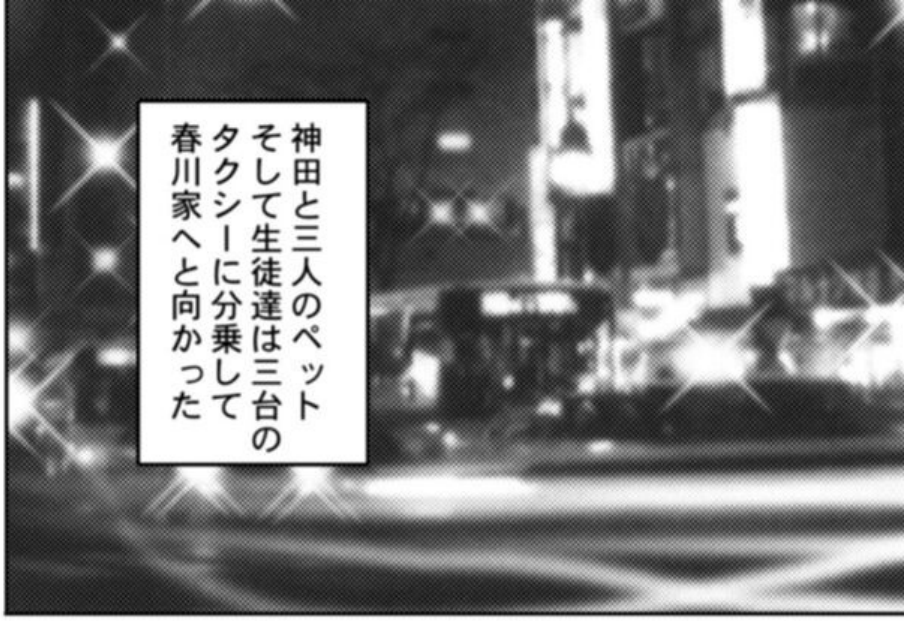
美女と美少年の
アナルセックスショーは
見物人を大いにわかせた
おら！
もっと激しく
突きまくれ
ううっ
おおっ
すげぇ
迫力だな
そんなに
気持ち
いいのか…
畜生！
たまらねぇ

おおうッ
かおるのペニスに激しくアヌスを突き上げられると景子は生徒の前にもかかわらずあられもない嬌声をあげてしまうのだった
ひいいッ
くはあッ
おうッ
きっついい

あおおおっ
かおる君!!
駄目ェェッ
景子…
いっくぅぅ!!
これで課外授業は
終わるけど
これから後は
かおる君の家で
特別授業を行うわ
テストの成績が
Aクラスと
Bクラスの
人は参加したければ
一緒に来るといいわ

マジかよ！
いきます！
いきますよ！
特別授業って
何をするん
ですか？
ホホ…！
もちろん
学校では
出来ないことよ
ルミ子さん！
あなたにも来て
もらうわよ！
元々春川君の家の
家政婦なんでしょ
夕食でも作って
もらうわ
!!
自宅に戻るのは
二週間ぶりになる
佳代は思わず目を
輝かせたのだが…
しかし神田の言う特別
授業がどんなものになる
のか… 三人は不安に包ま
れながら服を身に着けた…


春川家


神田と三人のペット
そして生徒達は三台の
タクシーに分乗して
春川家へと向かった

お邪魔しまーす
君達
春川君の家は
初めてなの？

春川とは三年で
初めて一緒に
なったんですよ
いい家じゃ
ねーか…
今は私と
かおる君の
家よ

……
久しぶりの自宅
だったが…
今の佳代にとっては
他人の家のように感じられた
家のそこここにゴミが散らばっているのだ…

やれやれ
ようやく
着いたぜ
先生
腹が減りましたね…
あらあら
性欲より
食欲ってわけ？
でも…
確かにお腹が
空いたわね…
まず夕食にしようかしら…

ルミ子！
勝手知ったる
家でしょ…
何か作って頂戴
俺
オムレツが
いいな
なんでもいい
からさっさと
喰って始め
ましょうよ
さっきあれだけ
射精したのに
元気だな

は…
はい…
自宅にもかかわらず
主人ヅラする神田に命令され
佳代はあまりの屈辱に
唇を噛んだが…
かおるの母親であることを
悟られまいと平静を装い
食事の準備に台所に
入るのだった…

景子！
お前は生徒のみなさんに飲み物を出すんだよ！言わないとそんな事もできないのかい！
あ…俺コーラ
は…はい
国語のテストで今回参加した者の中にはまだ景子を犯していない者も多数いた…
くうう…ようやく松下先生とやれるぜ！
ああ…もうチンコがギンギンだぜ
英語も数学も苦手だからAクラスなんて諦めてたからな
……
君達国語だって重要な教科なんだからちゃんと勉強して来てよかったでしょ？
はい！これからも頑張ります

かおる！
かおるは
どこなの？
私にも
飲み物もって
きてよ！
どうぞ…
……!!
い…
いただき
ます！

美人教師にかしずかれ
飲み物をお酌されて
生徒達は有頂天になった…
股間を覗きこみ今夜の事を
考えるとそれだけで性器が
硬くズボンを突っ張らせるのだ

!!
どこ行ってたのここに来て私に酌をするのよ
荷物を部屋に…
言い訳はいいから！ここに来なさい！
お待たせしました…
何よ…それしかないの？
十人以上いるんだぜ
オムライスじゃねーのかよ
何よ！これ？目玉焼きと酒のつまみ？
冷蔵庫に食材がなくて…ごはんは今炊けます…

何よ！
それじゃ私が
家事をやって
ないみたいじゃ
ない！
そんなこと
言ってません
わ…
食べ物が
ないなら
宅配ピザでも
頼めばいいじゃ
ない！
まったく
気がきかないん
だから！
かおる！
さっさと注ぎ
なさい！
はい…
三十分後…
ピザが届くと漸く
生徒達は満足して
景子に手をつけ
始めた…
たまんねえな
このおっぱい
あ…
ついに
松下先生と
やれるぜ…
PIZZA

すでに素っ裸にされた景子は生徒達に取り囲まれ身体中を弄り回されていた
英語や数学でいい成績を取れなかった彼等はいままでの鬱憤を払うかのように女教師の肌を撫で回すのだった…
ああッ
おおうッ
ああこの肌触り…たまんねえぜ
ルミ子！お前も裸になるんだよ
は…はい…
お？ルミ子も参戦か？どうしようかな
裸になってそこに四つん這いになるんだよ！さっさとおし！

ぬ…
脱ぎました…
脱いだら
そこに手を
ついて！
うはあ…
松下先生より
おっぱいもケツも
でかいなあ…
ほんと
外人ポルノ
スター並の
身体だぜ…
ハイ…

ホホホ
いいテーブルが出来たじゃない
へへへ
こりゃいいや
ゴージャスなテーブルだな…
エロいテーブルだぜ…
もっと背中丸めろ

佳代をテーブル代わりにして食事が再開したが生徒達はピザを食べるよりも佳代の身体を熱心に悪戯する者もいた…
松下先生も食べていいんですよ
あっ…ああ…
ううむ
ズプ…
チチ…

あっ
ああッ
これがオマンコか…柔らかくて熱くて…
このでかいおっぱいがたまらねえええ！
おうッ
おおう
ほんといい身体してるぜさすが元ヌードモデルだけのことはあるぜ

ヌードモデルじゃ食えなくてここの家政婦になったんでしょ…
それでかおる君の母親が入院しているのをいい事に誘惑してこの家を乗っ取ろうとしたのよね…
井川さんによればストリッパーもしていたそうですよ
黒田は特別に助教員的立場で課外授業に顔を出す事を許されていた…
もちろん横田の命令で神田を監視するという目的もあった
特出しのルミ子って有名だったらしいです
へえ…特出しねぇ…
ルミ子さん！あなたストリッパーもしていたのね？
ストリッパーと言っても立派な職業よ… 恥ずかしがることないわ
……
ハ…ハイ ストリッパーをしておりました

ふふふ…
そうだ！ ちょっと
踊ってみてよ！
いいでしょ
ストリップ
なんて見た
ことないな
そりゃいいや！
見せて下さいよ
ルミ子さん！
ああ…
踊れって言われ
ても…
特出しのルミ子って
有名だったんでしょ？
得意の踊りを
見せてみなさいよ
レッツ
ダンス
ですよ！

以前横田からダンスを強要されたことはあったが…息子の前では羞恥が先立った
よッ！ルミ子！いけえッ
もっと腰振ってえ！ルミ子ちゃん
どうしたどうした
どうした何恥ずかしがってる？

何よ何よ！全然下手くそじゃない！
本当にストリッパーだったの？松下先生の方が上手いじゃないの？
……
フフフ…特出しだけが取り柄で…
性器を見せるだけで人気があったのかなそれで食えなくてソープで働いていたらしいですよ

聞き捨てならないわね!!
それは本当なの?
ルミ子さん!!
本当にソープ嬢だったの?
どうなのよ!
返答なさい!!
あの…
そ…それは…
は…はい…
すまんなルミ子…ついお前の秘密をしゃべっちまったぜ客と本番して稼いでたんだってな…
なんですって?
それは本当なの?
売春していたなんて…

あなた学校を騙したのね！
そんな……
神田先生…今さらそんな事いってもルミ子は正式に英正学園の職員に採用されたんですから
世間にばれたら恥ですよ…
それもそうね…こんな事おおっぴらにできないわ…絶対に外部に漏れないようしないと
ルミ子さん！絶対この事は二度と口外無用よ…私達で学園の名誉を守るのよ…
は…はい…
ようし…それじゃ私達を騙した罰としてこれからは国語のテストのBクラス以上のペットになってもらうわ
ひょええ～～松下先生だけじゃなくルミ子もいただけるのか！
!!
やったあ！

やったぜ！
今夜もやれるんですよね！
国語を勉強してよかったぜ
ホホホ！
これからは国語を勉強していた人が得するようにしてあげるわよ！
ふはは
たまらねぇ…
くうう
神田先生
万歳！

とんでもないスベタねえ…
でもこの女の身体を利用して
この子達の尻を叩くのは
いいアイデアだわ…
まだルミ子がかおるの
母親だとは夢にも
思っていない神田は
義憤にかられながらも
その美麗な肉体を利用して
国語の成績を上げようと
企むのであった…

その前に…ルミ子にお仕置きしないといけないわね…
ああ…神田先生…お許しを…
それならSMショーを実演させましょう！
それならかおると景子に責めさせたらいいですよ
ホホホ…それはいいわね
みんな！何かSMショーに使えそうな道具を捜して来なさいよ

生徒達はにわかに活気づいて家捜しを始めた…かおるや景子に佳代を責めさせるというアイデアは大いに若者を興奮させたのだった…
ヒヒヒまず鞭打ちかな…
おらッ尻を出せ！
ああッ
さっさとするんだよ
SMショーって何をするんだ？
おい！早くしろよ

ショーにふさわしい衣装に着替えさせたぜ
ひゃあ！かおるも松下先生も似合ってますよ！SMの女王様っぽいですね！
かおるは女物の下着…松下先生は水着ですよ
ホホホ二人とも似合ってるわよ…
この性悪女ルミ子をお仕置きするのよ
まずその…でかいケツをなめしてやろうぜ！

ホホホ
力一杯
尻を叩くのよ

ママ…
許して！
ごめんなさい

きやううッ

パアアアアーン

下手に手加減など
したら神田に何を
言われるか分らない

ホホホ
もっと
強く打つ
のよ！

だが実の母親の尻を
クラスメイトの眼前で
叩いていくうちに
かおるは不覚にも
興奮を覚えていた…

くあッ
いいのよ…かおる…
もっと強く打ちなさい
私はあなたの母じゃない!!
元ヌードモデルの
小桜ルミ子なのよ!
くうッ
おおッ!!

しかし…息子に尻を叩かれるうちに佳代の身内に倒錯的な快感が生まれていたのも事実だった…黒田達不良生徒に輪姦され横田に調教された夫人は苦痛に顔を歪めながらも股間を濡らしていたのだ…それを気がつかれまいとことさら佳代は大きな悲鳴をあげるのだった…
おおおうッ
許してェェッ
くはあぁッ
ヒヒヒ尻を叩かれて乳首を起ててるぜ
……
景子…お前もルミ子を責めるんだ

さっさとやれよ
奥様…許して…
ルミ子さん…動かないで
くううッ
くまおおおッ
チン!!

そら！
どんどん
やれよ
ホホホッ！
そんなに
気持ちいいの？
さすがマゾだけの
ことはあるわ
くあああッ…
あああ…
ありがとう…
ござ…うあああッ

舌を出すのよ！
ふひえぇッ
くあぁッひらぁッ
ゆるひふぇぇ

ホホホッ
いい音じゃない
ルミ子はやはり
ケツを責めるに
限るわね
すげえ
乳首が
真っ赤だ
あおおッ
ふふふ
責められて
喜んでるぜ
たまらねぇ…
チンコが
ギンギンだぜ
尻が
真っ赤
だぜ！

かおる！
叩くのはもういいわ
それより…その股間の
物が苦しそうじゃない
ルミ子の尻を犯して
いいわよ！
えッ!!
で…でも…
教室ではなんとか
親子での絡みは
回避できたのだが…
どうしたのよ？
いい仲だったんでしょ
ルミ子と…
神田は再び
この二人の間に流れる
妙な雰囲気を感じていた…

どうしたんだい！
ルミ子のケツ穴犯して
いいって言ってるんだよ！
オマンコは生徒の分
だからね！
で…でも
……
フフフ
神田の奴
さすがに
おかしいと
感じたか…
ぼ…
坊っちゃま
……
せっかく…神田先生が
お許し下さったんですから
どうか… ルミ子の
お尻を…犯して
くださいまし…
かおる…
神田先生が
疑ってるわ…

かおる…
坊っちゃま…
どうかルミ子の
お尻を犯して
下さいまし…
……
ほらッ！
ルミ子もああ
言ってるじゃ
ない！
私がいいって
言ってんだよ！
奥様…
景子にも佳代の
気持ちが理解できた…
そしてかおるにも
母の考えが伝わった…
わかったよ…
ママ…

!!
よし 俺がルミ子のアヌスに潤滑剤を塗り込んでやるよ
あっ…ああ～～
それじゃ俺はおっぱい揉んで気分をあげてやるぜ ヒヒヒ…
ああ～～あっ…ああああ～～
アヌスがすごく柔らかくなってぷっくり膨らんで来たぜ…

さあ…
準備できたぞ
かおる…
がっつり
ルミ子のケツの穴
犯してやれよ
ホホホ…
でかくていかにも
淫らな尻ねぇ…
物欲しげにぷりぷり
しちゃって……
ぼ…坊っちゃま…
どうかルミ子のお尻
思いっきり犯して
下さいまし…
……

ママ…
許して…
いいのよ
かおる…
思いっきり
犯して…
ああ…
かおるの物が
私の中に…
うはッ
うむむッ

パパパパパン
おっ
おおうッ
あっ!!
ああ
あんん!!
すげえ
腰使いだ
ホホホッ
かおるったら
情けない声
どっちが犯さ
れてるのよ!
うはは…
こんな間近で
迫力のアナル
セックス…
おおうっ
おんッ…
気持ち
いいのか
ルミ子!

おおッ
くふうッ
あっ
ああッ
かおる自身気づかないうちに溜まりに溜まっていた母への劣情を一つ余さず注がんとその尻に激しく腰をうちつけ肛門を抉って佳代をのけ反らせた

うッ…
!!
ハア…
ハア…
出したのか？
かおる…
ルミ子の肛門に
精液出したのか
すげえ迫力
だったぜ…
なんか二人とも
気合い入って
たな…
ハア
ハア…

か…神田先生！
もう我慢たまりません
せんよ！
僕らもやらせて
下さいよ！
見るだけ
なんて
酷いですよ
かおるだけが
いい目見てる
だけじゃないですか
ホホホ！
みんなもいよいよ
気分が乗って
きたみたいね
西浦君！
こっちへ
来なさい！
は…
はい
このうらなり君は西浦好夫といい
国語のテストで唯一満点を取った生徒である
松下先生と
やらせて
くれますか
元々文系で数学は
選択しておらず
英語も苦手なので
まだ景子とセックス
どころかフェラチオも
してもらっていな
かった…
もちろんよ…
それにルミ子とも
やらせてあげるわ

先生
風呂の用意
出来ました
ありがとう
黒田君
西浦君
ご褒美として
景子とルミ子
二人とお風呂
入っていいわよ
ええッ？
本当ですか！
マジか!!
松下先生と
ルミ子二人と
やれるのかよ
ソープ
プレイかよ
畜生!!
うらやまし
すぎるぜ!!
なんとAクラスの
ご褒美は景子と
ルミ子の二輪車だった
よろしく
お願い
します…
こっちへ
いらっしゃい…

春川家の浴室はとても広く…そこで西浦はこの世の天国を味わうこととなった…
西浦君は何もしなくていいからね…
ハ…ハイ…
景子も佳代も横田や黒田にソーププレイを徹底的に仕込まれており特に景子はテクニックの進歩が著しかった
さらに佳代も修得しないと厳しく仕置きされるためいやいやながらも訓練に励んでいた…

どう？
西浦君…
はううう
いいです
松下先生
ええ…
はおおう…
駄目ですう
松下先生…
出るうう
!!

いいのよ
いくら出しても…
一度出してすっきり
したでしょう?
は…
はいい…
あッ
ペロペロ
いいわッ
あッ!!
せ…先生…
ぺちゃぺちゃ
ああ…おいしい
です…おまん
こ…おお…
ピチャッ
ピチャッ
ピチャッ
あっ…
ああッ

ああッ
西浦君…
そこ…駄目

ふふふ…
あなたは
何もしなくて
いいのよ…
ああ…
よろしく
お願い
します
私達に
任せていれば
いいのよ…

グロ…グロ…

二人の美女に奉仕され
西浦は何回も射精して
果てた…この世の極楽とは
まさにこれだと思えるほど
甘美な体験だった…
ふああ
ほおお…
うふふ…
かわいいわ…
ドピュッ
ドピュッ
ドピュッ

はああ
たまらな
いいい！
ルミ子の
尻たまら
ないいい
あん…
あんん…
おうっ
おお
おうッ
くあぁッ
たまらない
吸い込まれる
ううッ…

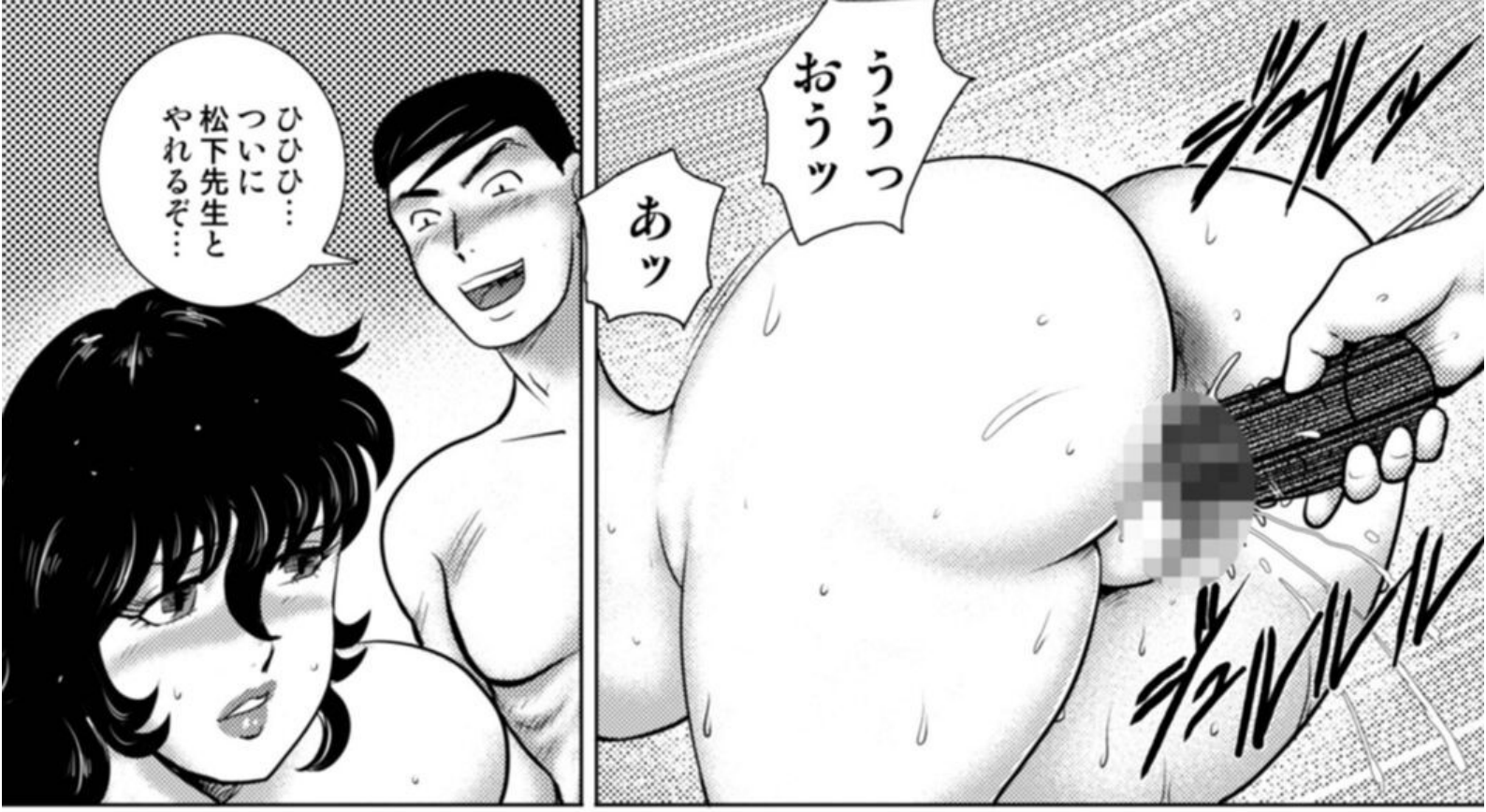
おっほおおお〜〜
いいのお〜〜
ルミ子いっくううう
あっああ
中は…
許して…
ドピュッ
ドピュッ
おおお…
すげえ
声だな…
くそう… 次は
必ずAクラスに
なって二人を
やってやるぜ
あっ…
ああ〜〜
ホホホ
みんな頑張ってテストで
いい点を取って頂戴
そうしたら二人を好きに
できるんだからね

まあ今はかおるの奉仕で我慢するのね
フェラは確かにかおるがうまいよな
俺は我慢するぜ…松下先生に思いっきり中出しするためにな…
アヘ…
こいつ…テカテカしやがってうらやましいぜ
はああ…最高でした…
くそう…なんとか次はAクラスに入りたいぜ

みんな！
わかったわね？
国語を勉強すれば
こうして松下先生や
ルミ子を…
自由にできる
んだからね…
悪くない見返り
でしょ？
わ！
わかり
ました！
元々文系
志望だから数学は
諦めてましたから
国語は頑張ります
それじゃ…
いよいよBクラスの諸君の
ご褒美だけど…
松下先生かルミ子どちらかを
選んでちょうだい
一晩自由にしていいわ
景子はこの居間で…
ルミ子は奥の
日本間でBクラスの
生徒をもてなして
もらおうかしら

やったあ〜〜!!
うーん…松下先生目当てだったけど…ルミ子も捨て難いな…
どうする…どっちにするかだな…
ルミ子にするかな…
初心忘れるべからず
やっぱり松下先生にするわ
くそッ…迷って決められねえ…
俺はルミ子を選ぶぜ!

西浦君
あなたもまだ
楽しんで
いいのよ
イ…
イエ…
僕は満足
しましたよ
今日は帰ります
西浦は
帰宅した
ああ…
ついに
この時が…
うぶ
ああ…そう
先っぽを
もっと…
景子を選択した四人は
居間にマットを敷いて
同時に女教師の身体を
いたぶり始めた…
それじゃ
このでかいのを
入れてあげますよ
へへへ…
今夜は徹夜で
松下先生を
やれるのか…
夢みたいだぜ


ひひひ…
ついに
松下先生と
やれるぞ…
あッ
ううっ
おうッ

ああ…
みなさん…
今夜は
お手柔らかに
ね…
やはり松下先生の
方が人数多かった
ですね… これじゃ
一晩五回は無理かな…
じゅるじゅる:

さあ！
かおる！
私達はあなたの
部屋で愛し
あいましょ
……
はい…
さあルミ子
今晩はたっぷり
可愛がって
やるぜ
……
松下先生を
諦めて
お前を
選んだんだ
よろしくな
そら！
まず部屋に布団を
敷いてもらおうか
ああッ
実の母が自宅でクラスメイトに
一晩犯される… そして自分は
自室で女教師に犯されるのだ…
春川家の悲劇はさらに悲惨さを
増していくのだった…

ああ…
乱暴にしないで
下さいませ
デリ

はすっぱな…元ヌードモデルの女と
思っていた生徒達だが…
佳代の隠しきれない上品で
淑やかな様子に戸惑いを
覚えてしまうのだった…
おっしゃる
通りにいたし
ますから…
どうか…優しく
お願いします…
なんでも致しますから

なんだこの女…
エロ過ぎだろ…
身体売ってた女とは思えねえ…
うおおッ
おら！
もっと舌出せ…
ふむむむ…
はああむ
チュパッ!!

ああああ…
ママ…
かおる！
さあ私達も
行きましょう
何してるの…
は…
はい
あら…
そんなに
ルミ子の事が
気になるの？
あら？
黒田君
帰るの？
ええ…
俺はもう
お邪魔でしょう
から…
横田先生に
よろしくね
わかりました
さあ かおる
私も朝まで
寝かさないわよ
……
あさっては
終業式ですよ
ほどほどにして
下さいよ
ふふふ…
ゲタに言われて
様子を見に
来てたのは
お見通しか…

黒田君から
そんな忠告
されるとは
思わなかったわ
ホホホ…
ふふふ…
それじゃ
お休みなさい
今夜の
春川家は
大変だな…
たっ…
たまん
ねええ！
はぶっ
プチゅッ
はぶちゅ

うおおッ
今日の一発目
だああッ！

出る!!

ふおお
うむっ…

ああ…
たまんねぇ
ハア…
ハア…
うっ
ぷ…
そら
これからが
本番だぞ！
ああ…
こんな濃いもの
出され続けたら
オラァ！
もっといけ
景子ォ!!
ひいいッ
朝まで
いかされるうッ

おほおおお
こんな…
息子の同級生に
自宅で犯される
なんてええ…
おぼッ
くふう
そらあッ
ルミ子全部
飲めよ！

ルミ子！
いけえええ
何度でも
喉の
奥まで
突っ込んで
やったぜ
おももッ
はぷうッ
景子と同じくルミ子も屈辱と
羞恥に暗黒の快楽を覚えて
数限り無い絶頂に悶絶していた

ぶはッ
ごふっ
ぶふッ

あああ…
こんなに
惨めなのに
なんで感じて
しまうのぉ～～
あおおおッ
むふふふ
うう～～

ほごぉ
そらぁ！
また出すから
全部飲めよ！
オオオ！
ルミ子！ いけえッ
中に出すぞオォ！
ウオオオオ
ふがああ
あおおおッ

おおう
ルミ子
いくうッ

ひいい
いい～～ッ
中は…
許してえ
えぇッ
ああ…
おおお
はァ
アッ
景子を初めて抱く
生徒達はもちろん
ゴムもつけないで
濃厚な精液を子宮に
ぶちまけた…
その度に景子は
絶望と屈辱と羞恥に
まみれた被虐感に
のけぞり絶頂した

ふおお
ふぐうッ
それは佳代も
同じであった…
ああっ…
息子の同級生に中出しされ… 白濁液を飲まされ… 肛門に注入されると… 倒錯した快感を感じて激しく悶絶してしまうのだった… 景子も佳代も生徒達に許しを乞うのだがその甲斐もなく繰り返し精液を注がれ失神した… 気を失った美女はその後も犯されたのだ… こうして春川家の淫らな一夜は夜明けまで続くことになった…

七月二十日は
終業式が行われる日であった
三年生
諸君は最後の
夏休みを
悔いのない
ものに…
式の後 生徒達は
夏休みへの期待に目を
輝かせながら学び舎を
飛び出していった…
そして校長室では
下半身を露出した
校長が景子に性器を
しゃぶらせていた
もちろん…
一年生二年生の
諸君も気を抜く事
なく夏休みを
有意義なものに
する事を望み
ます…
ふうむ…
いいぞ
たまらん…
むちゅ…
くぷちゅ…
井川君には悪いが
今夜は儂に付き合って
もらうぞ… 松下君…
例の集まりが今夜
あるんでね…
はむ…
んん…

みなさんも君に参加してくれと煩くてね楽しみにしているようだよ
ちゅば…ちゅば…
ついでとは言ってなんだがルミ子君も参加してもらう
……
さっきは金玉まですい込まれると思ったぞ…
しかしすっかりおしゃぶりが上手くなったな…この吸い付き具合なんてソープ嬢顔負けだぞ
よし…お掃除フェラはそれくらいでいいだろう…
まだこれではすまんぞ…一発オマンコに中出ししてやろう…
は…はい…

まったく…
いいケツだよ
松下君は…
こんな
いい尻を
毎日生徒に
好きにさせ
ている
なんて…
ああ…
そんな…
パシッ
パシッ
校長としては
嬉しくもあり
妬ましくもありだ…
お…
お許し
下さい…
クチュ
クチュ
ふうッ!!
ああッ
クチュ
クチュッ
おおうッ

そら！ どうだ松下君
校長のペニスと生徒と
どう違うか後で感想を
述べてもらうからよく
味わうんだ…
くうう…
は…はい
ふうむ…
松下君のオマンコは
肉厚で締まりがいいな
たまらんよ
ああ…
あ…ありがとう
ございます…
校長先生…

くうッ
ううッ
おうッ
おおうッ
ああ…
中はどうか
許して
下さい！
ふああ…
たまらんぞ松下君
中にたっぷり出して
やるからしっかり
受け止めるんだ

井川や生徒の精液はありがたく頂くくせに校長の儂のモノは駄目だと言うのか？

ああッ いやああああッ

ドクン ドクン ドクン

くはぁぁ駄目ェェ〜〜〜

そらそらたっぷり飲み込むがいいぞ

そらッ！
もう一発出すぞ
抜かずの三発だ
ガキにはできんだろ
ひいいッ
駄目です
うう～～～
調子に乗った校長は
続けざまに射精して
景子に悲鳴を上げさせた
生徒に対して対抗心を発揮して
一流校の校長が中出しし続ける
事態に景子は軽蔑しながらも
そんな男に犯されている事実に
被虐感を昂らせてしまう
あぁっ
許してェ！
お許しになって
ええ～～～

ふふ儂も十代の生徒にひけをとらんだろ…
おっと…そろそろ準備しないとな…そこに今日の衣装があるから着替えてもらおうか…
え？
これは…
今回は夏向け衣装だ…似合うと思うぞ
校長先生　ルミ子を連れて参りました
おう…　井川君今日はすまんな…ルミ子君を借りるぞルミ子君もそこの衣装に着替えてくれ
サイズが合うか分らんがな…

景子達は校長が用意した露出的な衣装に着替えさせられた…
ヒヒヒ
またこれは刺激的な服じゃねえか…
……
よく似合ってるぞ
わが校の教師と職員として出席するんだ… しっかり頑張ってくれよ

ああ…
またこんな
格好で…

とても女教師がする格好ではないが
この姿で連れ回されるのだと思うと
どこか期待に似た興奮を覚えてしまう

ふふふ…
そんな姿見たら
みなさんさぞ
興奮する
だろうな

つい先程景子に
散々射精したにも
かかわらず再び
校長は勃起して
いた…

井川君
もういいぞ

よし…
手を後ろで
組んで…
そこに跪くんだ
そして口を大きく
開けて…
舌をあーんと
出して…
あーん…
そのまま
何もしなくて
いいからな
動くなよ
ああ…
これが一流校の
校長のやる事
なのかしら…

はふ…
ふあ…
そら次はルミ子お前だ
ふぁあ…
校長は景子と佳代の舌に亀頭を擦り付けオナニーを始めた…
美女の口をオナホ代わりとは贅沢だな

二人の舌のザラザラがたまらんよ…
はむむ…
ふむむ…はむむ…
ふむう…出すぞ…舌の上に出すからな！
えらあ…ああ…
まだ飲み込むんじゃないぞルミ子…舌の上でころがして…
ドピュ

はむむ…
残りは景子お前の舌に絞り出してやる…
よし…その精液を舌の上で転がしてようくかきまわすんだ…
そうだ…クチュクチュして味わうんだ…美味しいだろう？儂の精液は…
うぐぐ…

口の中でさんざんかき
回されたザーメンは
コテコテに粘りを増し
半固形化していた…

口腔内にへばりつく精液を
景子と佳代は死ぬような
思いで飲み込もうと
努力したがもはやそれは
拷問のようなものだった

よし…
それじゃ駅まで
行って渋谷へ
行くんだ
えっ？
この格好の
ままでですか？
タクシーじゃ
ないんですか？
奴隷女教師・景子
14
完
そんな…こんな格好で
駅に行って電車に乗って…
人前にさらされるなんて…

MWコミックス　15

奴隷女教師・景子⑭

令和４年６月10日　　初版発行

著　者　原作　杉村春也
　　漫画　まいなぁぼぉい
発行人　日向大典
発行所　マイウェイ出版株式会社
　　〒162-0805
　　東京都新宿区矢来町113
　　神楽坂升本ビル3F
　　03-6280-8834（代表）
DTP・製版　株式会社公栄社
印刷所　株式会社公栄社

Printed in Japan

落丁・乱丁の場合には小社にてお取りかえいたします。
定価はカバーに表示してあります。

奴隷女教師・景子⑭

マイウェイ出版